

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

軽部 謙介

1. 授業の概要(ねらい)

皆さんが日常的に目にするニュース、特に経済ニュースをどのようにして読みこなしていけばいいのか。プロのジャーナリスト出身者としてニュースを突破口に日本の経済政策・経済現象を考えていくとともに、経済を報道する意味なども探っていきます。

例えば「TPP」関連の報道を読んだとき、その背景には日本の通商政策の変遷から現在の政治構造まで様々な要素が控えています。あるいはこの10年間の為替変動のニュースは、世界情勢だけでなく現在の「アベノミクス」の内容を把握しているかどうかで理解度合いが異なります。一つのニュースを突破口にして、そのテーマを深めていけば、様々な経済政策、経済現象が身近なものとして理解できていくでしょう。

このゼミでは概括的な説明を数回した後、後期は世界経済を軸に、各自が選んだテーマを中心にニュースの深読みをしていきます。

2. 授業の到達目標

一つのニュースを突破口にして様々な経済政策、経済現象を身近なものとして理解する。新聞に掲載される経済ニュースを読み解けるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

授業への取組姿勢、出席回数、プレゼン内容、発表者への質問などを重視します

4. 教科書・参考文献

参考文献

船橋洋一 「通貨烈烈」 朝日文庫

スティーブ・ドライデン 「通商戦士」 共同通信社

ボブ・ウッドワード 「大統領執務室」 文藝春秋社

軽部謙介 「日米コメ交渉」 中公新書

軽部謙介 「ドキュメント機密公電」 岩波書店

5. 準備学修の内容

自分の発表の時は周到な準備を行う。

6. その他履修上の注意事項

経済のみならず、政治や国際情勢などにも興味を持ってください。また、発表者への質問なども重視します。

7. 授業内容

【第1回】 この授業の対象範囲や授業の進め方について説明します。

【第2回】 世界経済を報じるとはどういうことなのか。

【第3回】 戦後の世界経済とメディア(1)

【第4回】 戦後の世界経済とメディア(2)

【第5回】 経済・金融ジャーナリズムの国際比較

【第6回】 授業参加者によるプレゼン1

【第7回】 授業参加者によるプレゼン2

【第8回】 授業参加者によるプレゼン3

【第9回】 授業参加者によるプレゼン4

【第10回】 授業参加者によるプレゼン5

【第11回】 授業参加者によるプレゼン6

【第12回】 授業参加者によるプレゼン7

【第13回】 授業参加者によるプレゼン8

【第14回】 授業参加者によるプレゼン9

【第15回】 まとめ